

# 6月議会市政報告

第292回市議会定例会が6月14日に開催されました。浜田 純市長は各議案の提案理由の説明に先立ち、「国体開催に向けて競技団体をはじめ、県国体局や関係機関、また多くの市民のご協力によって進めてきた準備も、いよいよ最終段階になり、競技会運営準備や民泊受け入れ態勢も整いました。本大会まで残された時間は少なくなりましたが、南国市の総力を挙げて国体成功に向け取り組んでいきます」と述べた後、主要な各課題について報告しました（内容は、あらましです）。

## 財政状況

厳しい状況の中、より効果的な運営を

平成13年度一般会計の決算見込みは、3億9千704万1千円の黒字となりますが、翌年度に繰り越すべき財源を控除しますと、実質収支は3千996万9千円の黒字で、前年度と比較すると、1億7千540万8千円の減額となります。このうち、減債基金に2

千万円を積み立ると、翌年度繰越金は、1千996万9千円となります。

平成14年度の一般会計の運営は、税収や地方交付税が伸び悩むことが予想される反面、公債費などの義務的経費が増大するなど厳しい財政状況の中で、経常的経費の節減合理化を一層推進し、より効率的な運営に努めていきます。

## 防災対策

風水害、地震災害を想定し市単独の防災訓練実施

6月1日に消防署・消防団・婦人防火クラブ・日本赤十字奉仕団・土佐くろしお鉄道株式会社・県警交通機動隊・南国警察署・高知県消防防災航空隊・自主防災会などの協力を得て、平成11年度以来3年ぶりの市単独の南国市総合防災訓練を開催しました。

訓練では新しい試みとして、自主防災会による「災害弱者救出訓練」、消防署および土佐くろしお鉄道株式会社による阿佐線高架橋での列車脱線事故を想定した「人命救出訓練」、また消防職員の指導による煙体験・地震体験・心肺蘇生コーナーなどの体験設備も設置して実施したことに より実効ある訓練となりました。



## 交通安全対策

安全指導や啓発に重点

各団体の協力を得て、4月7日の高齢者交通安全ステッブ研修会を皮切りに、県下一斉街頭指導人間看板、ドライバースーパー、交通安全広報活動による交通安全の指導・啓発を行っています。

また、保育所、幼稚園、小・中学校の新入学児童を対象に市内36カ所交通安全教室を開催したところ好評を得ました。

## 保健事業

広域化予防接種の開始

本年度から基本健康診査とC型肝炎ウイルス検査を併せて実施するとともに、予防接種を県下すべての委託医療機関で受けられる広域化予防接種を始められています。

昨年度から実施しています前立腺がん検診は、175名が受診し、複数のがん患者が発見されました。前立腺がんは現在増加しており、本年度も高知医科大学と連携して実施します。





## 国体関係

大会成功に向けて

民泊の受け入れ態勢については、宿泊する施設や家庭の特定、調理態勢の整備が整い、標準献立調理講習会も開催できる段階にまで整ってまいりました。

今後は、これらの講習会に加え、歓迎や応援活動の充実に努め、民泊組織の拡充を図ってまいります。

## 「黒滝自然館せいらん」落成

豊かな自然を生かした施設の利用を

黒滝地区の研修・宿泊施設「黒滝自然館せいらん」が落成し、6月にオープンしました。

黒滝地区の豊かな自然を生かした施設として、市民のみならず県内外の多くの方々に利用していただけるようにPRしています。

## 市町村合併

基礎資料作成に取り組み

4月22日から専任職員1名が土佐山田町にある南国・香美・芸西の市町村合併事務所に向き、住民が合併の是非を判断するための資料作りを行っています。

## ごみ問題

ペットボトルの

分別収集、再資源化

八京地区に建設してまいりました一般廃棄物最終処分場は、4月1日から供用開始し、市民生活から排出される雑ゴミの埋め立て処理を行っています。

片山処分場は3月末に閉鎖後、多目的運動広場として整備するための準備を進めています。可燃廃棄物の処理は、4月からペットボトルの再資源化のための分別収集を開始しています。なお、来年度から容器包装プラスチックの分別収集、再資源化を予定しています。

## ごめん・なはり線

いよいよ開業

7月1日の開業に向け、実行委員会を組織し、開業当日のイベントの準備を進めています。併せて、利用客確保のための広域的な取り組みを進めています。

## 介護保険事業

第2期介護保険

事業計画の策定

6月6日に南国市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定推進運営協議会を開催し、平成15年度から向こう3年間の第2期介護保険事業計画の策定を進めています。

策定に当たり、お年寄りが能力に応じて自立した日常を営むことができる介護サービスの確保に努めたいと考えています。

## 介護予防・生活支援事業

介護予防拠点施設完成

介護予防拠点整備事業を導入して建築しました「SUNSU Nながおか」が4月21日に落成

しました。なお、本年度は岡豊地区公民館の改築を行う予定です。

## 人権問題

講演会に県内外から

多数の参加者

子どもの人権問題について、「だからあなたも生きぬいて」と題した講演会を開催しました。大平光代弁護士が自身の体験や弁護士活動を通じて経験した子どもの人権問題を内容とする壮絶な話に、県内外から約1千200名の参加者がありました。

## 「教育県都」をめざして

教員の人事交流を図る

教職員研修について、中堅教員自主企画研修を設け、本市のこれからの学校経営に必要な人材の育成を図っています。

本年度は、本市から2名の小学校教員を2年から3年の期間で岐阜県と香川県に派遣し、両県からは本市に小・中学校合わせて3名の教員を迎え、人事交流を行っています。